

# ほっとニュース

発行: 特定医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

特定医療法人 一成会 理念

みんなの元気のパートナー



## 医療機能評価更新受審に取り組みます



特定医療法人一成会理事長・木村病院院长 木村 厚

皆様、新年あけましておめでとうございます。

一成会は、これまで、医療の質を高め、より効率的な医療を行なう努力をしてきました。その過程で、大いに効果があったものに「医療機能評価」というものがあります。これは、日本で唯一の第三者機関による、病院が提供する医療の機能に対する、評価と質改善の仕組みです。

わが国で、初めて「病院機能評価」という言葉が公になったのは 1981 年のことでした。以来、関係者の努力により、95 年には(財)日本医療機能評価機構が設立され、木村病院も、98 年に最初の認定を受け、それ以来継続しています。

病院機能評価の目的は、病院医療の質の向上です。今日、当たり前のことになった、「病院の組織化、効率化」「患者サービス」「医療安全」「診療、看護ケアの適正化」などの多くは、この医療機能評価を受ける中で学びました。

木村病院のロビーには、日本医療機能評価機構による認定書を掲示しておりますが、一般の方々の関心は、そう深くはありません。これは、残念でもあり、PR の努力不足という反省もあります。

木村病院は、今年、機能評価の更新受審を行ないます。さらに、医療の質を上げ、効率的な医療を行なうことで、地域の皆様が安心して暮らせる医療と介護を提供して行きたいと考えています。

合わせて、2 月に開催される東京都病院学会の学会長を私が務めますが、そのテーマも「病院機能評価を考える 一新評価体系に向けてー」であります。

本年も、地域の皆様のために努力します。皆様のご支援ご鞭撻をお願いいたします。

今年一年の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。

# 災害時医療救護訓練を実施しました



昨年10月27日、災害時医療救護訓練を実施しました。

一成会は、これまで、年に一度、災害時医療救護訓練を実施してきました。東日本大震災を受けて、「病院は無傷で、けがをした患者さんを救う」という前提を見直し、2011年からは、「病院も被害を受けている中でいかに医療を継続するか」という訓練にしました。その流れを受け、今回の訓練は、大災害が起きた直後の初動に重点をおいた訓練としました。

## ● ● ● ● ● ● ● ● 大災害時の病院 ● ● ●

災害時には、病院も被害を受けます。ライフライン、建物、医療機器、スタッフの被害等により、平常時の病院とは、全く違うものになります。災害時には、「普段できることが、できなく」なります。また、被害の種類や程度により、「できること、できないこと」の内容が、大きく異なることになります。

そうした中でも、病院は社会的な使命を果たさなければなりません。それは、「一人でも多くの人の命を救う」ことです。そのために、病院は、「できること、できないこと」の見極めをし、限られたスタッフと機能で、優先順位をつけて、効率的に医療を行なう必要があります。

今回の医療救護訓練では、その「初動」と「トリアージ」の訓練に力を入れて取り組みました。まず、院内の被害状況を確認し、院内の患者さん等への対応ができ、さらに、新たな外来患者さんの受け入れが可能かどうかの判断を行ないました。今回は、「新たな外来患者さんの受け入れが可能」という想定です。

「トリアージ」とは、「限られた条件下で、一人でも多くの命を救う」ために、患者さんの優先順位づけを行なうことです。「命を救う」というのは、「社会復帰をさせる」ということです。その可能性の高い人に、残された病院の機能を集中させることになります。このため、災害時には、医療を受けられる患者さんと受けられない患者さんが出てきます。



## ● ● ● ● ● ● ● ● 当日の様子 ● ● ●

10月27日土曜日午後2時から4時半まで、職員も原則全員参加で行ない、尾久消防署5名、消防団10名、稲穂睦会6名、更生保護女性会8名の方々と、職員73名、合計102名が参加しました。

2時から2時45分までの前半が、初動訓練、その中で、各部署の被害状況の確認と入院患者さんのトリアージが行なわれ、外来で新しい患者さんの受け入れが可能である、ということが決定され、院内放送されました。2時45分から、4時10分までは、3つのグループに分かれ、外来トリアージ、搬送、無線連絡、応急処置の訓練が行なわれました。無線連絡の訓練は今回初めてで、防災無線機を使って荒川区防災センターとの間で無線連絡を行ないました。その後、尾久消防署金子幸夫救急係長から講評をいただきました。

## ● ● ● ● ● ● ● 尾久消防署 金子幸夫救急係長の講評 ● ● ●



災害時のこと、備蓄など、かなり細部にわたってよく検討されている。

トリアージについて。先生方が真剣に取り組んでいた。災害時のトリアージは、いろいろな機関が同じタグを使ってやる。同じ方法でやらないと、あとになって違う方向性が出る可能性がある。トリアジタグは、カルテに当たるものなので、できるだけ正確に書くよう心がけてほしい。

途中で、現在の被害状況や今後の方針を報告していたのは、大変いいこと。幹部だけが知っていたのでは、動きが全然違ってくる。最新の情報を知らせるのはとても大切なこと。情報の共有化で、士気も上がる。本日はお疲れ様でした。

## ● ● ● ● ● ● ● 外部参加者アンケートまとめ ● ● ●

★性別

(男性) 2 (女性) 11

★年齢

(80代)	2	(70代)	6	(60代)	3	(50代)	1	(40代)	1
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

★災害時に病院が平常時とは違うということがご理解いただけましたか？

(はい) 13

★トリアージの意味をご理解いただけましたか？

(はい) 12

(無回答)

1

★今後も災害時医療救護訓練に参加したいと思いますか？

(はい) 9

(いいえ) 3

1

★実際に災害が起きた場合木村病院の救護活動にご協力いただけますか？

(はい) 8

(いいえ) 5

参加者(職員を除く)

29名中 13名回答



★常に訓練は必要だと思います。

★時間のくばり方が違うので昨年より時間がありすぎると思った。

★参加させて頂き勉強になりましたが、実際にその場で活動が発揮できるか疑問です。



★トリアージの訓練でわかりやすく参考になりました。

★良い経験をさせて頂きました。災害時には家より距離的に無理と思います。

★近隣の火災が広がった場合、本病院の対応はどうなるのでしょうか？

★火災のことが気になりました。

★災害時の病院の対応のお話を伺えて参考になりました。けがをしてすぐに病院にきてしまうと思うので、緊急の時は助け合わなければいけないと感じました。本日はお疲れ様でした。

ご意見・ご感想

★大変学べましたが、いざというときは平常時でいられるかどうか？ 病院に協力したいと思いますが、遠くて距離的に無理だと思います。

★病院の皆様お疲れ様でした。今回で3回目ですが、休んでいる時間の方が多く、昨年の流れのがよかったです。病院の考え方もありますから。

★トリアージの時、先生方が本当以上によく診察をして頂きました。いざという時に木村病院へこられない場合はどうするんですか？ 歩くことができずタクシーを捕まえることもできずそのような場合は？



# 今年の花粉は昨年の3~7倍



今年も花粉が飛散する季節になりました。昨年の猛暑の影響で、今年の花粉の飛散量は例年以上と予想されています。

今年の傾向を知り、早めの対策をとることで、いやな季節を乗り越え、気持ちのいい春を迎えて下さい。

## 花粉症症状チェック

ご自身では気づいていなくても左のいずれかの症状があれば花粉症の可能性があります。ひどくなる前に医師に相談しましょう。



## 花粉症 早目の治療をおすすめします

花粉症は、花粉が飛び前か、飛び始めの早い時期で症状の軽いうちにお薬を使うと、症状が出るのを遅らせたり症状を軽くすることができます。それを花粉症の初期治療といいます。

当院では、花粉症の症状を抑える飲み薬や目薬、点鼻薬なども処方して初期治療を行なっています。最近では、効き目が早く、眠気などの副作用も少ない飲み薬も開発されています。症状はもちろんですが、仕事内容、その人に合った薬の処方を心掛けています。相談しながら、考えていきましょう。ひどくなる前にお気軽にご相談下さい。



症状 ➤



くしゃみ



鼻づまり

のみ薬 ➤

### 抗ヒスタミン薬

くしゃみや鼻水が主症状である場合によく使用されます。

### ロイコトリエン受容体拮抗薬

鼻づまりに対する効果が優れています。

点鼻薬 ➤

### 鼻噴霧用ステロイド薬

くしゃみ・鼻みず・鼻づまりのいずれにも効果があります。